

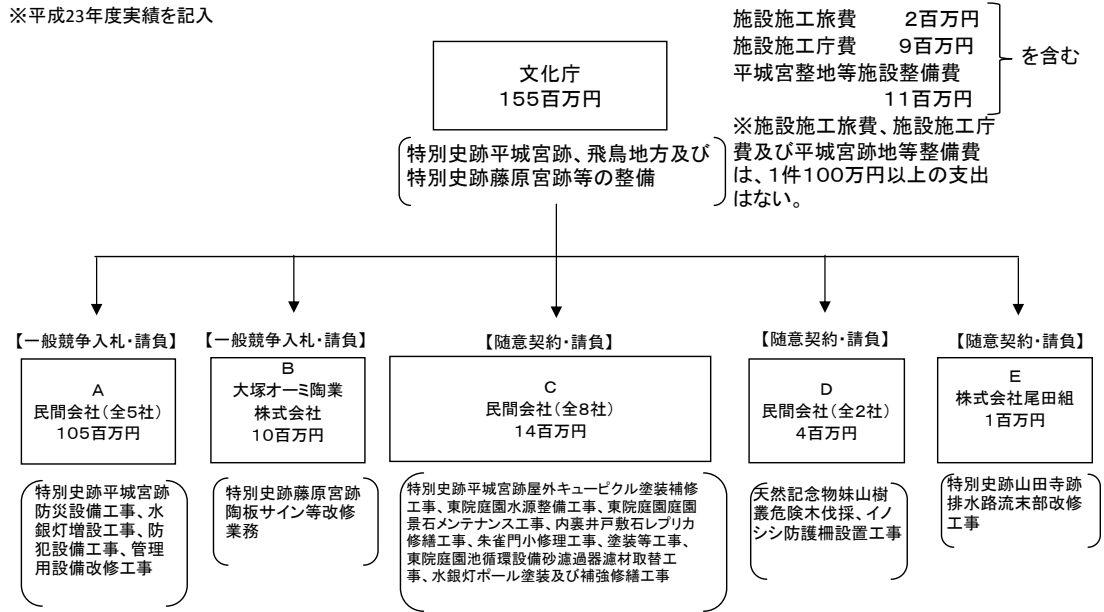
平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>		平城宮跡地等整備費		担当部署	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		昭和40年度		担当課室	文化財部記念物課		記念物課長 矢野 和彦	
会計区分		一般会計		施策名	XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		文化財保護法 第1条		関係する計画、通知等	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について(昭和45年12月18日閣議決定) 特別史跡平城宮跡保存整備基本構想(昭和53年) 特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画(平成20年)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		平城宮跡の土地の買上げについては、昭和37年に宮跡全体を国有地化する方針が決定され、藤原宮跡及び飛鳥地区については、「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」によって国有地化の方針が決定されている。 さらに、国有地化された平城宮跡の整備については、昭和53年に文化庁において定めた「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」に基づき、特別史跡に指定され、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡であること及び、広大な地域を占めて保全されている国民的文化遺産であることに鑑み、遺跡博物館としてのまとまりのもと、東院庭園、朱雀門等の復原、第二次大極殿院地区の整備等を行ってきた、また、藤原宮跡等についても、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として環境整備等を実施してきたところである。今後も、既存施設の維持・管理、未整備地の整備等を行い、我が国の歴史、文化、伝統を次世代に継承するものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		特別史跡平城宮跡及び特別史跡藤原宮跡等を良好な状態で保全を行うための防災設備の設置など、各種工事や整備を行う。						
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算の状況	当初予算	145	143	178	111	91
			補正予算	-	-	-	-	-
			繰越し等	-	△ 116	116	-	-
			計	145	27	294	111	91
		執行額	197	15	155	-	-	
執行率(%)	135.9%	55.9%	52.9%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡を良好な状態で保全するための各種工事及び整備事業であることから、定量的な成果目標を設定することは困難であるが、史跡としての価値を維持するとともに、国民が利用しやすい環境整備を目指すものである。			成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡を良好な状態で保全するための各種工事及び整備事業の実施。			活動実績(当初見込み)	7	3 ( 4 )	17 ( 3 )	— ( 3 )
単位当たりコスト		9 (百万円/件)		算出根拠	執行額/工事件数 155百万円/17件			
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費		2百万円	2百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない 実績等を踏まえた積算見直し等によるもの			
	施設施工庁費		20百万円	15百万円				
	平城宮跡地等整備費		89百万円	73百万円				
計		111百万円	91百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平城宮跡は、我が国の歴史文化を理解する上でも重要な役割を果たすとともに、国民の憩いの場としても活用されており、国民からのニーズは高いものである。また、遺跡規模や遺跡の重要性からも国が実施すべき事業であり、不用額等の把握も行き、事業の適正な実施を行っている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各種整備事業を行うに当たっては、入札を実施する等、事業費の適正化に努めている。また、整備内容は様々な観点から検討を行い、必要とされる整備から実施している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	史跡地内の整備という性質上、様々な要因により当初計画通りに実施できなかった事業もある。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平城宮跡及び藤原宮跡は、歴史的・学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として環境整備等を実施してきたところである。各種整備は、史跡の状態により必要な整備を計画的に実施するとともに、実施に当たっては一般競争入札を実施するなど、コスト削減に努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、国有地化された平城宮跡地等について、既存施設の修理・修復や未整備地の整備等を国が直接実施する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は平成23年度において不用額を生じ、平成24年度当初予算で既に一定の見直しを実施しているものの、平成25年度概算要求においても予算執行の実績を適切に反映すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	各整備の実施にあたっては、仕様書の見直し、適切な公告期間の確保等により、競争性、公平性、透明性の確保しつつ、効果的・効率的な実施を図ったところである。各整備は、平城宮跡等の価値や来客者の利便性を保つために今後とも計画的に行っていく必要があるが、平成23年決算で生じた不用額を踏まえ、概算要求に▲16百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
【関係する計画通知等】 ① 特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画 URL: <a href="http://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/heijo/activities/current/pdf/01/02_siry01.pdf#search=特別史跡平城宮跡保存整備基本構想">http://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/heijo/activities/current/pdf/01/02_siry01.pdf#search=特別史跡平城宮跡保存整備基本構想</a>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0481	平成23年行政事業レビュー	0404

※平成23年度実績を記入



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに  
 最大の金額  
 が支出されて  
 いる者につい  
 て記載する。  
 費目と使途の  
 双方で実情  
 が分かるよう  
 に記載)

A.能美防災株式会社			E.株式会社尾田組		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	防災設備工事一式	60	工事費	直接工事費(基盤整備、植栽、施設整備)	0.5
消費税		3	工事費	共通仮設費	0.2
			現場管理費		0.3
			一般管理費		0.1
			消費税		0.1
計		63	計		1
B.大塚オーミ陶業株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	特別史跡藤原宮跡陶板サイン等改修業務	9.6			
計		10	計		0
C.三和建设株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	仮設、塗装、看板、解体・撤去工事等	2.0			
現場管理費		0.2			
諸経費		0.1			
消費税		0.1			
計		2	計		0
D.菊屋造園					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	直接工事費(整枝作業一式)	1.4			
工事費	間接工事費(現場管理費)	0.4			
一般管理費		0.2			
計		2	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	能美防災株式会社	特別史跡平城宮跡防災設備工事(遺構展示館・推定宮内省・東院庭園)	63	2	97.6%
2	吉田電気商工株式会社	特別史跡平城宮跡防犯設備工事(みやと通り沿い・朱雀門地区等)	21	4	32.3%
3	株式会社尾田組	特別史跡平城宮跡管理用設備等改修工事	13	2	98.8%
4	能美防災株式会社	特別史跡平城宮跡防災設備工事(朱雀門)	6	1	95.4%
5	吉田電気商工株式会社	特別史跡平城宮跡水銀灯増設工事	3	3	29.6%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大塚オ一ミ陶業株式会社	特別史跡藤原宮跡陶板サイン等改修業務	10	1	98.5%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三和建設株式会社	特別史跡平城宮跡内塗装等工事	2.4	随意契約	—
2	株式会社京都科学	特別史跡平城宮跡内裏井戸敷石レプリカ修繕工事	1.9	随意契約	—
3	小寺電業株式会社	特別史跡平城宮跡屋外キューピクル塗装補償工事	1.9	随意契約	—
4	福井水道工業株式会社	特別史跡平城宮跡東院庭園池循環設備砂濾過器濾材取替工事	1.8	随意契約	—
5	株式会社瀧川寺社建築	特別史跡平城宮跡朱雀門小修理工事	1.8	随意契約	—
6	小寺電業株式会社	特別史跡平城宮跡水銀灯ポール塗装及び補強修繕工事	1.8	随意契約	—
7	福井水道工業株式会社	特別史跡平城宮跡東院庭園水源整備工事	1.4	随意契約	—
8	株式会社アクト	特別史跡平城宮跡東院庭園景石メンテナンス工事	1.3	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	菊屋造園	天然記念物妹山樹叢危険木伐採	2.0	随意契約	—
2	押部工務店	天然記念物妹山樹叢イノシシ防護柵設置工事	1.7	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社尾田組	特別史跡山田寺跡排水路流末部改修工事	1.2	随意契約	—